は既に暴支膺懲の第一線に立つて居られる。共に暮らした愉快な2週間を想起し同君の凱旋の速かならんことを祈る。採集に御援助を賜はつた附田惠氏に深謝の意を表する。

春の蜘蛛 下田と天城

高 島 春 雄

東京市本郷區駒込曙町五

去る5月5日(1937)から8日まで伊豆下田で今年最初の蜘蛛採集を行つた成績が之である。春の下田は私には未經驗であり隨つて下田と天城の春の *Sybota varians* を窺ふのも今度が最初であり，亦報告としては此の小文を以て斯界嚆矢とするであらう。採集旅行に便宜を寄せられたる福井玉夫敎授，査定の勞を執られた植村利夫學兄に深甚の敬意を表するものである。

下田に在る東京文理大臨海實驗所に宿泊して居たが先づ寄宿舍內でオホヒメグモ，ウヅキドクグモ，クサグモ(幼)，アダンソンハヘトリ，チヤスヂハヘトリ，アシダカグモ(之は確認のみ)等を採つて氣をよくし野外に出ては下掲の23種程を採集した。

ウヅグモ科 *1オホヒカゲグモ *Sybota varians* (Boesenberg et Strand) **ヒメグモ科** 2オホヒメグモ 3コノハヒメグモ 4ヌサグモ *5カレハヒメグモ *Teutana transversifoveata* Boesenberg et Strand **サラグモ科** *6ヒラサラグモ *Linyphia nipponica* Kishida **コガネグモ科** 7オニグモ *8チユウガタコガネグモ *Argiope aetherea* (Walckenaer) 9ヤマシロオニグモ 10ゴミグモ *11コシロガネグモ *Leucauge subblanda* Boesenberg et Strand 後條參照 12コガネグモ 13アシナガグモ **ドクグモ科** 14ウヅキドクグモ 15ドクグモ一種 *Lycosa sp.* (幼) **タナグモ科** 16クサグモ(幼) *17イホグモ一種

Coras sp. (幼) **カニグモ科** 18シヤコグモ *19エビグモ *Philodromus roseus* Kishida 20アヅチグモ一種 *Thomisus* sp. (幼) **ハヘトリグモ科** *21ミスヂハヘトリ *Plexippus setipes* Karsch *22ハヘトリグモ一種 *Hyllus* sp. (幼) **フクログモ科** 23フクログモ一種 *Clubiona* sp. (幼)

尚蜘蛛の網に懸つて既に乾からびて居たのは24ハラクロドクグモであつた。之をも加へ今回の採品は總べて10科27種程で新に下田蜘蛛相に1科(サラグモ科) 9種(*を附したるもの)を加へ得たのが收穫である。之で下田の蜘蛛は今迄の處14科64種以上になる。コシロガネグモは植村氏への好き家苞となつたが之につき氏は語る。「下田のシロガネグモが小さいのに成熟して居るので不思議に思ひ調査した處別種でありました。外觀は全然同一ですが小形なのと epigyne の形が違ひます。それで念の爲昨年お採りになつた標本も調べ直しましたが殆ど大部分はコシロガネグモであつたのに二度吃驚しました。昨年の標本は全部完全に保存出來て居ないのではつきりは申せませんが, 下田産の中にシロガネグモ *Leucauge blanda* が1頭は入つて居ることは間違ひありませんが天城産のには未だシロガネグモが出て參りません。恐らくあの邊の *Leucauge* は大部分コシロガネグモでシロガネグモは數が少いのではないかと思ひます。斯んな次第ですから誌上で御訂正下されば幸です」

5月6日には4度目の天城採集を試みた。「春は新緑夏は綠秋は紅葉冬の木花と四季折々の眺めは又格別の趣が御座います」(東海バス孃) といふ春の天城は此の時が始めてゞある。天氣は好いが風が烈し過ぎ其のせいか獲物は尠い強過ぎて一時は遭難するかと心細くなつた位であるが勇を鼓して八丁池迄往還した。蟄蟲にしても唯1頭を採つたに過ぎない。之は植村氏に據ればヒメザトウムシ *Bienia delicata* Kishida (本誌 vol. i, no. p. 104 にサミダレザトウムシと云ふ名が出て居るが, 之はヒメザトウムシに統一撤回せらるべきものである) である。眞正蜘蛛も下揭の8種のみ (他に未査定のもの二三あり) であつた。

サラグモ科 *1アカムネグモ一種 *Oedothorax* sp. (adult male) *2コブグモ一種 *Lophocarenum* sp. (juvenile female) **コガネグモ科** 3オニグモ一種 *Araneus* sp. **キシダグモ科** 4スヂブトハシリグモ **ドクグモ科** 5ウヅキドクグモ 6ドクグモ一種 *Lycosa* sp. (adult) **カニグモ科** *7カニモグ一種 *Xysticus* sp. (adult) **ハヘトリグモ科** *8マミジロハヘトリ *Evarcha albaria* (L. Koch)

新に天城の蜘蛛として加はつたもの4種(*あるもの), 之にて目下の處11科35種程判明した譯である。前記の通り天城のシロガネグモと報じたもの(本誌vol. i no. 4 p. 131 及び vol. ii, no. p. 31) は一先づ保留しコシロガネグモと書き換へる必要を認める。今回の8種中 *Xysticus* sp. も珍品らしいが最も注意すべきは *Lophocarenum* sp. である, 成體の採集を切に望むと植村氏は申された。

前回の拙稿「秋の蜘蛛 下田と天城」の誤植を此の機會に於て訂します。p. 27下より6行目 *Mete* は *Meta*, p. 30 下から9行目修喜寺は修善寺, p. 31 上から2行目標本は標木, 同じく5行目血にしては皿にして, 同じく6行目あはてたはあわてた, 同じく8行目揚げたは掲げた, 下から11行目Karch は Karsch の何れも誤植である。

採集會並に總會の件

今後本會の採集會が武藏野電車の沿線で擧行される場合は例の通り昆蟲趣味の會及便利な武藏野博物の會と共同にて主催する事に致します。故に昆蟲・植物・地質・鑛物等にも趣味を持たれるお方は其の方の準備もなさるれば各方面の收穫があらうと思ひます。

さて上記三つの會の顏合せとでも云つた樣な採集會を十月中に行ふ豫定でありますがまだ日が決定致しませんのでこゝに發表する事の出來なかつた事を殘念に思ひます。何れ在京並に近府縣の會員各位へは葉書で御通知申上ますから奮つて御參加下さい。尙九月に行ふ豫定の總會も時節柄次第に延期されてゐますが, 近く役員の方々と相談をして十月下旬頃ごく質素に會合致したいと思つてゐます。(植村利夫記)